



SSKP つくしんぼの会報紙

つくつく通信

“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです

2000年12月号
(No. 48)

編集～フリースペース
つくしんぼ
町田市小川1511番地
TEL 042(796)8468

さよなら20世紀

秋は黄昏……

ここ二ヶ月の通信を読んで下さった方から「最近、内容がたそがれちゃってるねえ」と言われてしまいました。

頼りきっていた職員が辞めたり、今後のことを考えたりしているうちに、なんとなくブルーな内容になっていたのは事実です。でも、秋はたそがれ……だから、まあいいかと。でも、いつしか、たそがれる暇もなく夕暮れになってしまふ今日この頃。真つ暗になると開き直ってしまうゆえ、冬はつとめて元気です。世の中、どうぞお先は真つ暗だし。

やめるう？

たそがれた内容にダメ押しするかのごとく、先月号の通信に「つくしんぼのリセットボタンを押してみようと思う」なんて書いたもんだから、いつしか「つくしんぼ、やめちゃうんだってねえ……」なんていう噂までが一人歩きを始める始末。

あはは、いえいえ、とんでもない。やめるわけじゃ決してありません。だって、せつかく苦勞して補助金貰えるようになったつくしんぼですよ。そんなに簡単にやめるわけないじゃありませんか。

リセットって「スイッチを切っておしまい」というのとは違っ

んです。ほら、テレビゲームだって、リセットしてもそれまでの経験値は残るでしょ？ うーん、だから日本語は難しい……。

リセットの意味

11月より「次年度検討委員会」というものを開くようにしました。このような会を開くのは、実はつくしんぼでは初めてだったりしています。

なんせスタートする時も補助金貰うようになった時も、なりゆきまかせの行き当たりばったりでしたから。

その結果、つくしんぼの活動の中には、五年前のスタート当初のままだったりするところが多々あったりします。

成人施設なら、まあ、それでもなんとかなるのかも知れ



ません。けど、子どもの場合はそうもいかないことを痛切に感じています。五年も経つと、幼稚園児だった子が母親の身長を超えちゃったりもするぐらいですから。

まだ始めて一回だけなので、どんな問題点があるかぐらしか話し合えていません。でも、来年四月までにはいろいろ

なことが見えてくると思っております。

時代もリセット

もうすぐ「20世紀」という名の時のカウンターもリセットされます。だからといって、キリストの時代からやり直す

のではないで……。さて、つくしんぼの21世紀はというと？

……やっぱり行き当たりばつたりのままなのかも……？



♪♪つくしんぼ日記♪♪

11月18日(土) 天気 はれ

今日は焼きイモ大会。日頃、おイモを頂きたい、瓜か与交流の多いあらぐさ分教所の皆さんをご招待して、盛大(?)に行ないました。朝からつくしんぼの母達が頑張って作った美味しい豚汁や各自で持ち寄ったおにぎり、ホクホクに焼けたおイモなど、とても豪華!! 美味しものを食べた後は、みんなで「さんぼ」を歌ったり、「おはロック」を踊ったり。分教所職員による余興があったり……。

その中でただ一人、焼きイモの火で遊んでいたつくしんぼのX君、その日はやっぱりおねしょをしたらしい???

ご近所の皆様、当日は煙モクモクであみませんでした。年に一度なので許して下さい。



この通信を送付させて頂いている皆様へ

開所の翌月以来、毎年約10回のペースでこの通信を発行しているつくしんぼです。ささえる会に入会して下さった方々を中心に、ボランティアに来て下さった方々、バザー等のための物品寄付をして下さった方々等に発送させて頂いています。

そして、ささえる会の方々には年に一度か二度、「ささえる会入会 継続のお願い」の手紙と振替用紙を同封させて頂いております。

ところが、このことが皆様に負担をおかけしてしまっているような気がなりません。「悪いのだけれど退会をしたい」との手紙をわざわざ頂いたりしてしまい、かえって恐縮してしまつことが度々あるからです。なんとというか、無言での退会希望者にプレッシャーを与えてしまつていような気がして……。

だからといって振込用紙を同封しないとすると、せつかく払って下さる方々に振込料まで負担して貰うことになってしまいますし……。

発行当初より何かしらのご縁のあった方々には住所をお聞きし、ずっと発送を継続させて頂いているのですが、これもかえってよくなかったのかも最近感じたりしています。

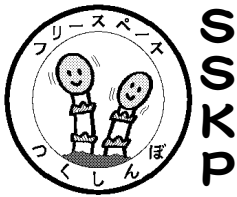
そこで来年度以降、三年をめぐりに住所録リストの見直しをさせて頂こうと考えています。もちろん、今後読んで頂ける方はいくらもありませんので、本当に勝手だなあと思って思いますが、どうかご容赦願います。今後ともつくしんぼをよろしくお願い申し上げます。

ささえる会「入会・ご更新 ありがとう」ございました

鈴木様、阿部様、刈屋様、草野様、佐藤様、田口様、周東様、青木様、安藤様、秋庭様、山本様、川本様、亀屋様、武田様、柴田様

ボランティア「ご寄付 ありがとう」ございました

高尾様、福井様、小林様、川本様、小泉様、長谷様、武田様、西山様、吉原様、梶原様、高柳様、大貫様、雑賀様、橋野様、渡辺様、堀内様、沢木様、金子様、山本様、谷澤様、浜様、広瀬様、太田様、小山様、杉田様、向原様、高橋様、幡垣様、三田村様、小池様、草野様、中田様、山崎様、佐藤様、鈴木様、半田様、橋詰様、木村様、菅野様、鈴木様、桜田様、青山様、サイドバイサイド町田ボランティア様、南郵便局様、せりがや公園のお祭りでお世話になったスマイルの皆様、寄付を下さった匿名の大勢の皆様 (11月)



つくつく通信

つくしんぼの活動時間は
月曜日～金曜日、放課後
～午後5時までです!!



“つくしんぼ”はハンディをもつ子どもたちのための放課後活動のスペースです



遊び人じゃなくて「遊ぶ人」
石塚 宇宙

子供の頃は、はやく大人になりたかった。大人は夜遅くまで起きていても叱られないし、色々決まり事も作れるし、とにかく、特典がいっぱいだったように見えた。そんな風に大人の世界をナメきてきたから、大人になって、縛られることが多いのを知ると、僕は、とたんに音を上げてしまった。

……だから今でもフリーターなんです。つくしんぼに来て、一ヶ月が経とうとしています。「こんなバイトは正直、滅多にあるもんじゃないなあ」と、つくづく実感している所です。周りの友達には、「遊んで金貰ってんだぜ。いいだろ。」とかいって自慢しています。でも、本当の所は……遊ばなくて悩んでいるんです。僕はいつの間にか、遊び方を忘れてしまっ

ていたのです……。

子供の頃の僕は、日が暮れるまで外で跳ね回っているような、典型的なハナタレ小僧で、わがまま聞いてもらえないと、ピーピー駄々をこね、もちろん勉強も手につかず、でも、理由なくバラ色の毎日を送っていた。完全ではないから、根拠なく人権侵害してみたり、反対に、いわれもないイジメにもあつたりした。差引でいったら暗い幼年期だったかも知れないが、それでもケロリとしていられたのも、夢中になるよう遊びが常にあつたから。うちに帰ると、ぼたんきゅー。

それが、歳とる毎に、不眠症と不健康の自慢を始めたりする。大人になって、いつの間にか、遊び方まで忘れてしまっていた。一杯かっくらって、ほろ酔い気分でおネンネっていうのがやっつ。遊びに行くにしたって、金が喰ってなんぼで、終わってみると、「実際、楽しかったのか？」と疑問を抱いてしまう。よく、友達と「金のかからない遊びって、なんかないかな～？」なんて会話をしている。……最低だ。

文字どおり「箸が転がっただけで笑っている」ことが、大人になるとハシタない事のような印象を持つようになる。けれども、反対に、純粹であるともいわれている。なるように汚れていくのが人生だ、と割り切っていると、笑うことがハシタなく感じるようになってしまうんだろう。……なら、端なくてもいいや。

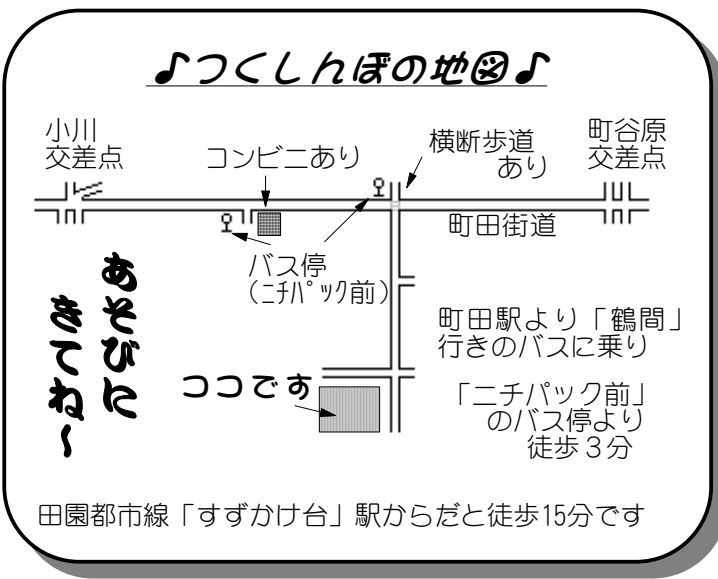
大人の習慣を子どもたちに言い聞かせようと、ふと、してしまうのも、「遊び人」ならぬ「遊ぶ人」では、なくなってしまったから……なのかも知れない。

「金八」世代だから、説教くさい事をいっちゃいそうで、まだ、危なっかしい場面もしばしば。そんな大人ぶった僕の発言に、子どもたちは素直に「理解できないぞ」と無視してくれる。

子供達は、いつでもトボけて感じたままに、発明するものだと思う。大人にとっては、すでに慣れきってしまったつまらない刺激でも、かなりウケがいい。喜びや旨味や面白みを、子どもたち自らの中で、発明して消費しているからに違いない。

……つくしんぼの子どもたちは、もしかしたら、一風変わっているのかも知れませんね。それは、時には大人のように、頑になることもあつたりするから……なのかも。それとも、僕が、みんなをさっぱり理解できていないから……なのかも。でも、子供の頃に、ひとり遊びが僕を癒してくれたように、一人ひとりの中では、ニューロンの大爆発が、始終治まることなく起こっていて、癒したり開発したりしているのでしょう。他人の頭の中の出来事なんて、簡単に記述できるもんじゃありませんが。

「明日はどんな遊びをしようかな……。」今夜も、かつて子供だった頃を思い出しつつ、食い付きのいい遊びはないか、模索しながら就寝しようと思います。おやすみなさい。



大 バザー、ガレージセールへのご寄付・ご来場 ありがとうございました

つくしんぼは今秋も「つくし野中フェスタ」「町作連バザー」「ゆうゆう版画館まつり」「つくしんぼガレージセール」と4週連続のイベント三昧でした。それぞれのイベントにご来場の方、そしてバザー等のご寄付を下さった皆様、本当にどうもありがとうございました。売り上げはつくしんぼの活動資金として大切に使用させて頂く予定です。次回のガレージセールは来年春の予定です。またよろしくお願ひできましたら幸いです。

「つくしんぼをよめる会」
ご入会、ご更新のお願い

私たちは、ハンディを持つ子ども達の放課後活動の場としてフリースペースつくしんぼを九六年五月に開所し、おかげさまで九八年四月より補助金を頂ける団体として認められるに至りました。しかしながら、公的資金だけでは、運営が苦しいのは相変わらずです。そこで皆様にお願ひがございまして、本当に勝手なお願ひで申し訳ないのですが「つくしんぼをささえる会」に入会しては頂けませんでしょうか。年会費は年間、一〇二千円です。お願ひ申し上げます。お願ひの届いた方には、毎月、この機関誌「つくつく通信」をお届けさせていただきます。お届きませぬ。年会費のお支払いは、関係者に直接お渡し頂くか、お近くの郵便局より下記の口座番号にお振り込まただければ幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 フリースペースつくしんぼ

編集後記
上の交遊録にある通り、11月より非常勤アルバイトの兄ちゃんに来てくれています。児童保育や福祉施設でのボラ経験があるせいか、子ども達とは不思議なくらいあっけなく馴染んでしまってます。さらに不思議なのは、個性派ぞろいの母ちゃん達ともあっけなく馴染んでしまっていることです。宇宙と書いて「そら」とか「ひろし」とかとも読むのかと思いきや、そのまま「うちゅう」とのことです。先輩になってしまった女性職員が「つくしんぼって変な人ばかり集まって来る」って言っていました。あれ、君がなぜここにいるのか、まだ気づいておらんわけ？

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21
障害者団体定期刊行物協会 定価 50円